

日伯学長会議 趣意書

背景及び目的：

ブラジルにおいて「国境なき科学」政策から「PrInt（大学国際化計画）」政策へと大きく舵が切られ、ブラジルから海外へ留学生を送る新しいシステムの下、日本における留学生 30 万人計画とマッチする形で両国間における学生交流支援体制が継続されてきた。その後、COVID-19 の世界的蔓延に伴い、海外留学支援体制が大きくダメージを受けたこともあり、現在少しずつではあるが、感染前の状態に復帰してきている。

このような時代背景の下、ますます社会に対する大学の役割が重要視されていることは自明の理である。特に、日本とブラジルは、2000 年に日本・ブラジル・パートナーシッププログラムに署名し、以来双方の開発方針に基づいて協力を実施してきた経緯がある。更に、先の G7 広島サミットやブラジルでの日・ブラジル首脳会談では、「戦略的グローバル・パートナー」として連携を強化していくとともに、環境保護・気候変動対策においても緊密に連携していくことが確認されたところであり、地球規模課題が複雑化する現在では、分野縦断的な議論やアプローチで問題解決に臨む重要性が国家間レベルで一層高まっている。

そのような状況を踏まえ、分野を超え複雑多岐にわたる地球規模課題の解決に挑むべく、日本とブラジルの双方の大学の学長、副学長等代表者が一堂に会し、「国際社会の一員として大学がどのように社会と関わり持続可能な発展に貢献するか」、「両国の大学がどのように連携を深め、人材育成に協働で当たるのか」等について考えを共有し、議論する場として、「日伯大学学長会議」を開催する。

なお、本学長会議をとおして、両国の交流がさらに活発になることを目指すために、政府系機関（CAPES、FAPESP、JSPS、JST）、日本の在外公館（在ブラジル日本国大使館、在サンパウロ日本国総領事館）などへの働きかけを行う。

テーマ：「地球規模課題の解決に挑む日本とブラジルの大学の役割」

開催日程：令和 7 年 1 月 31 日（金）及び 2 月 1 日（土）

開催国（都市）：ブラジル（サンパウロ市）

使用言語：英語

主催：筑波大学、サンパウロ大学

後援（予定）：外務省他関係機関

会議日程：令和 7 年 1 月 31 日 学長会議（基調講演、ディスカッション、共同宣言等）

令和 7 年 2 月 1 日 研修ツアー

以上